

1. 施設概要

施設名	観音崎公園		
所在地	横須賀市走水2丁目・鴨居3丁目・4丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/kannon/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和50年4月)		
指定管理者名	横浜緑地・西武造園グループ		
指定期間	H21.4.1~H27.3.31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>< 1 管理運営等の状況 > 観音崎公園の貴重な自然や歴史資源の特性を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組みを行いながら管理運営にあたっている。 維持管理に関しては、生物多様性に配慮した植物管理や、花の名所づくりとしての植栽管理、来園者が多い夏期や元旦の夜間巡視などの取組みが行われている。 利用促進に関しては、観音崎公園の特色ある植物、砲台、地層等を題材としたガイドツアーなどの少人数イベントのほか、観音崎フェスティバルなどの大規模イベントなど幅広く開催されている。また、スマートフォンやパソコンで園内の施設案内や防災非難情報が確認できるアプリを作成するなど、新たな取組みも行われている。 地域連携に関しては、花苗を地域の障害者団体から購入するとともに花の種を近隣住民へ配布したり、ボランティア同士で交流や情報共有ができる公園倶楽部を開催するなど、地域やボランティア等と連携した取組みが行われている。</p> <p>< 2 利用状況 > 利用促進のためのイベントを計画的に開催しており、利用者数は対前年度比で98.1%、目標達成率で137.1%となったため、S評価となった。</p> <p>< 3 利用者の満足度 > 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が94.0%と高い評価を得たため、S評価となった。</p> <p>< 4 収支状況 > 収支比率が99.5%と収入に対して支出がわずかに上回ったため、B評価となったが、利用促進のアプリ開発など新たに取組んだものであり、日常業務は不足なく行われている。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 利用者からの要望により蜂の巣の除去を行うなど、適切な対応が行われている。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 遊具における事故が発生したが、事故後の応急措置や再発防止対策が早急に行われている。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。今後も、県立観音崎公園再生計画(案)との整合を図りながら、公園の自然環境に配慮した植物管理、自然と歴史資源を活かした利用促進の取組み及び地域やボランティアと連携した公園づくりの継続した取組みが望まれる。</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	月2回程度	
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
	有	遊具における事故について、随時モニタリングにより再発防止を指導した。

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
公園における特性と課題を踏まえた維持管理 (1) 生物多様性の向上 (2) ウェルカムポイントの修景 (3) 花の名所づくりのための植栽管理 (4) 夜間巡視、早朝交通誘導	(1) 花の広場の植物管理では、チョウやバッタ等の生息環境に配慮するため、ボランティア「昆虫と自然の会」と連携しながら草刈や外来種の除去を行い、生物多様性に向けた取組みを行った。 (2) ビジターセンターや管理許可施設であるマテリア周辺を中心に、プランターによる緑化を継続して行った。 (3) 新たな花の名所づくりとして、花の広場でのオブジェ設置による花壇修景のほか、桜まつりや冬季の花壇修景として「かかしコンテスト」を地域の方々や町内会と共に行った。 (4) 来園者が多くなる夏期に加え、元旦の初日の出にも夜間巡視や駐車場の早朝開放を行い、利用者の安全と快適性の向上を図った。	提案の効果が確認された。
利用促進方策 (1) 利用促進のためのイベント開催 (2) 利用促進のための広報 (3) 利用促進のためのアプリ開発	(1) 植物や砲台、地層などを題材としたガイドツアーや観音崎フェスティバルなどのイベントを継続して実施した。 (2) 公園のホームページやパンフレットの更新を行うとともに、毎月発行する観音崎通信による園内情報の発信や、情報誌等へのイベント情報の掲載に努め、利用促進のための広報活動を実施した。 (3) 特定非営利法人AR防災避難情報と㈱協進印刷と協働し、公園マップや観音崎公園アプリの作成(平成27年5月公開)を行った。これにより、園内の施設案内や防災避難情報などがスマートフォンやパソコンで確認することができるようになった。	提案の効果が確認された。
地域と関係機関との連携 (1) 県民及び住民参加、ボランティア団体による協働の取組みについて (2) 地域への貢献について	(1) ・公園内のボランティア団体が参加する「公園倶楽部」を4・9・12月に開催し、活動状況の発表などを通して交流や情報共有を深めた。 ・NPOわんわんパーティークラブの「第15回 全国一斉!クリーン作戦」に賛同し、マナー啓発パンフレットやウンチ袋の配布に協力した。また、NPO災害救助犬ネットワークによる愛犬と防災訓練、マナー教室を開催した。 ・ボランティア活動で公園内の植物管理を行っていた「わかばの会」が「第25回全国『みどりの愛護』のつどい」にて国土交通大臣賞を受賞した。 (2) ・園内の花壇に植える花苗を障がい者団体が育てたものに切り替えたり、1苗購入毎に10粒の花種子を近隣住民へ配布する企画などを行い、社会貢献に努めた。	提案の効果が確認された。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
レストランの飲食サービス 地産地消の考えのもと、地元の海の幸を食材にした安全なメニューを提供する。	食品衛生を第一に衛生管理を徹底し、飲食のサービスを行った。
自動販売機を更新し、利用者ニーズにあった清涼飲料等を販売してサービスの提供を行う。	利用者ニーズにあったメニューを自動販売機に取り入れた。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	603,957	812,380	802,800	787,200
対前年度比			98.8%	98.1%
目標値	[目標値設定根拠]	574,000	574,000	574,000
目標達成率	平成18～20年度実績平均の95%	141.5%	139.9%	137.1%

[参考：最大利用可能人数]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
S	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度に比べ満足と回答した割合が14.6%増加した。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数/配付数 166 / 166 = 100.0%

配付(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	93	62	3	7	0	165	満足：園内が良く手入れされており、とても綺麗なため。 不満：広いためか全体的に行き届いていない。
回答率	56.4%	37.6%	1.8%	4.2%	0.0%		
前年度の回答数	74	89	8	5	1	177	
回答率の対前年度比	135%	75%	40%	150%	0%		

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営/管理委託 /指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
[参考] 年度計画	86,768	107,581	107,655	110,971	※その他収入＝ 駐車場収入(自主事業)
指定管理料	58,572	79,800	79,874	82,156	
利用料	0	0	0	0	
その他収入	27,913	26,217	26,459	26,901	
合計	86,485	106,017	106,333	109,057	
対前年度比		122.6%	100.3%	102.6%	
対計画比	99.7%	98.5%	98.8%	98.3%	
(2) 支出					
[参考] 年度計画	86,768	107,581	107,655	110,971	
支出額	79,097	105,498	104,821	109,565	
(内 納付金)	0	0	0	0	
対前年度比		133.4%	99.4%	104.5%	
対計画比	91.2%	98.1%	97.4%	98.7%	
(3) 収支					
[参考] 年度計画	0	0	0	0	
収支差額	7,388	519	1,512	-508	
対前年度比		7.0%	291.3%	—	
収入合計／支出合計の比率	109.3%	100.5%	101.4%	99.5%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
	11,567千円	浄化槽補修(1,229千円)H26.8 土留柵補修工(1,415千円)H27.1 遊具改良工(1,458千円)H27.2 第1.2駐車場舗装 ライン工(734千円)H26.4 窓ガラス取替工(760千円)H26.4 窓ガラス取替工 門扉補修工(460千円)H27.2 柵修繕工(994千円)H26.10 冷却ポンプ補修工(347千円)H26.9 建物補修工(961千円)H26.12 柵修繕工(972千円)H27.2 遊具修繕工(739千円)H27.3 木柵補修工(999千円)H27.3 溶液循環ポンプ補修工(499千円)H27.3

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入	508	自主事業の収益から充当
支出	508	指定管理業務の収支差額に充当
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	7	件	水生生物のために池の水の管理をして欲しい。 日常的にゴミの撤去を行うなど、一層の管理努力をすることを伝えた。
		件	
職員対応	2	件	アライグマ捕獲器に鳥が捕まっているので助けて欲しい。 鳥の保護を行った。
		件	
事業内容	56	件	イベントが楽しく、また参加したいと思った。
		件	
その他	18	件	公園敷地内にスズメバチの巣があるため駆除して欲しい 園内を点検し、発見したハチの巣を撤去した。
		件	

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
平成26年 5月4日	木製遊具で遊んでいた児童が、木材が腐朽して飛び出していた木ねじに引っ掛けて怪我を負った。	施設の老朽化	①事故後の応急処置や再発防止対策を早急を実施した。 ②随時モニタリングを行い、再発防止を指導した。事故後の応急処置や再発防止対策が適切であったことから、改善勧告は行わなかった。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。